

研究タイトル:

有機ハロゲン化合物の反応性と有効利用



氏名: 安田 賢生 / YASUDA Kensei E-mail: kyasuda@nc-toyama.ac.jp

職名: 教授 学位: 博士(工学)

所属学会・協会: 日本化学会, 高分子学会, 日本コンピュータ化学会

キーワード: 有機ハロゲン化合物, 脱塩素化, トランス塩素化, 触媒化学

技術相談
提供可能技術:

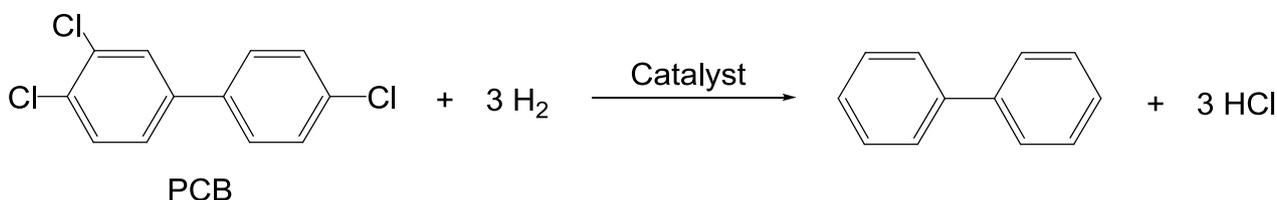
- ・有機ハロゲン化合物の無害化
- ・有機ハロゲン化合物の反応性
- ・無機分析

研究内容: ポリ塩化ビフェニル(PCB)の無害化処理

ポリハロゲン化合物は、一般に種々の化学薬品に対して活性が低く、自然界においても代謝が進行しにくく、その残留毒性が社会問題になっている。このような有毒あるいは不要な有機ハロゲン化合物を他の有用な化合物に変換することを目的として、有機ハロゲン化合物の構造と反応性について、研究を行っている。

ポリ塩化ビフェニル(PCB)は、平成 13 年施行の「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」により、平成 28 年までに処理しなければならなくなり、その処理が急務となっている。

現在は、PCBを流通式常圧水素化脱塩素反応により、無害化することを目的として研究を行っている。



提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)

GC/MS (Agilent 7890A)